



日の出前の南東の空で 明るく光る金星



天空が広がるうぶやまの高原は、厳冬期で寒い北風が吹いています。産山から見える阿蘇、久住、祖母の山々は雪に覆われています。産山の夜半の外気温は -5°C 位まで下がりますが、冬の夜空は透明度が高く、スターウォッチングには最適です。

今回の天文情報は、2月の日の出前の南東の空には、金星がとても明るく輝いているという情報です。金星は、12日に最大光度となり、 -4.9 等級まで増光しています。これは、1等星の役100倍以上という明るさで、昼間の青空の中でも見ることができます。誤って太陽を直接見ないように十分注意して、昼間の金星観察にチャレンジしてみましょ。日の出前のまだ薄暗い時に金星の位置を確認しておき、空が明るさを増す間に時々位置を確認し直すと、日の出後も金星を比較的簡単に見つけることができます。



金星が最大光度の2月12日午前6時頃の金星の位置